

令和 6 年度「韓哲・まちづくり夢基金」 運用益等活用事業 追加分（案）

令和6年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業 追加分（案）

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続 新規
1	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	18,000千円 (18,000千円) ※内追加分 8,000千円	継続 ※8年目
2	SDGs推進事業	教育	市長公室 政策企画課	555千円 (555千円)	新規
3	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	23,467千円 (13,189千円) ※内追加分1,038千円	継続 ※3年目
4	大学等受験料支援事業	教育	教育委員会 教育総務課	2,385千円 (2,385千円)	新規
5	京丹後市文化芸術振興計画及び 文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	5,532千円 (3,367千円) ※内追加分 1,000千円	継続 ※3年目
基金充当額合計				12,978千円	

分野	その他	担当部署	市長公室政策企画課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	18,000千円 (18,000千円) ※内追加分 8,000千円
目的	韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。				
事業概要・主な経費	<p>※追加の理由：上限100万円×10件＝10,000千円の積算を上回る14件の申請があったため、不足額を追加するほか、二次募集を行うため。</p> <p>【補助対象者】 京丹後市内に住所又は主たる事務所若しくは事業所を有する、個人（未成年の場合は保護者）、団体、法人等</p> <p>【募集する事業】 応募は1個人又は1団体等につき1提案。事業内容は、「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金条例」に規定する、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりにつながる人材育成、顕彰等に係る事業であること。 本市の他の補助制度の対象となる事業（京丹後市スポーツ・文化活動等大会出場激励金 等）については補助対象外とする。</p> <p>【補助金額、補助率等】 補助率2／3以内（上限100万円） ※ただし、教育、文化、芸術又はスポーツの振興に関する分野かつ営利を目的としない事業は、補助率10／10以内。</p> <p>【審査】 「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会」において審査を行う（提出書類及び応募者によるプレゼンテーションに基づく審査）。</p> <p>【決定】 上記審査結果をもとに、市長が補助金交付の内定（又は不内定）を決定。予算額を超える申請があったときは、「子どもが自主的又は主体的に関わる事業を優先する。それ以外は委員会で審査された点数順とする。その後、内定者は補助金交付申請書を提出する。</p>			事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日～5月8日：公募 ・5月29日：委員会審査、内定決定 ・6月中旬：交付申請書提出 ・6月下旬：交付決定 ・6月下旬～：事業実施 ・7月中：二次募集 ・8月中：事業実施

分野	教育	担当部署	市長公室 政策企画課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	555千円 (555千円)
目的	<p>令和3年度に一般社団法人Sustainable Gameとの間で締結した包括連携協定に基づき、SDGsの達成及び将来世代のニーズを反映させた持続可能な社会・経済の実現に資することを目的として、中学校、高等学校等におけるESD（持続可能な開発のための教育）の推進支援や社会問題に関心のある将来世代を本市へ呼び込む企画など、「若者活躍の聖地」を目指した取組を推進する。</p>				
事業概要・主な経費	<p>○事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（仮）課題発見DAY NEO フィールドワークを通じて社会課題を発見し、その解決策を考える中高生を対象とした教育プログラム。過去2回実施してきた中で、解決策の議論に係る時間が不足していたため、2日間の日程で開催する。 └開催時期：8月中（2日連続開催） └対象：市内外の中高生 ・市外中高生との交流プログラム SDGsに関心のある市外の中高生と市内中高生の交流プログラム。活動事例の発表、ワークショップ等。 └開催時期：10月頃 └対象：市内外の中高生 ・出前講座の実施 東京大学等の学生と連携し、市内中高生を対象とした出前講座を実施。 └開催時期：未定 └対象：市内外の中高生 <p>○主な経費 コーディネート業務委託料 555千円</p> <p>※一般社団法人Sustainable Gameとは 2020年に高校生により設立され、全国の現役中高生で構成される法人。SDGsの普及や未成年の社会参画の促進を目的としたイベントやコミュニティ運営などの事業を展開し、これまで大企業等40社以上の企業と連携・協業されています。</p>				
	<p>事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8月 （仮）課題発見DAY NEO ● 10月 市外中高生との交流プログラム ● 未定 出前講座 				

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	23,467千円 (13,189千円) ※内今回追加分 1,038千円
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。				
事業概要・主な経費	<p>※追加の理由：中学生の海外派遣に係る渡航費用の補助率増</p> <ul style="list-style-type: none"> ○Kyotango English Day 【対象：小学3・4年生】 22千円 CIR・ALTとの英語による交流会（消耗品費） ○Kyotango English Camp 【対象：小学5・6年生】 347千円（入：199千円） CIR・ALTとの交流会（通信運搬費、施設使用料等） 1泊2日で開催 定員：20人 ○オンライン留学 【対象：中学1年生】 36千円 外国とのオンライン交流を開催。事前研修を含む5回で構成（通信運搬費） ○中学生の海外派遣 【対象：中学2年生】 11,723千円（6,379千円） 海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校で、学校生活を体験 派遣先：オーストラリア パース 期間：9日間 人数：20人 ※渡航費用の3/4を補助金交付（旅費、補助金、謝礼品代等） ○英語力向上アプリの導入（令和4年度～3か年事業） 5,599千円（1,869千円） AIによる英語力向上アプリを市内全中学1～3年生のタブレットに導入 英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりに自信をもてる生徒を育成 （報償物品、ライセンス使用料） ○「Kyotango Sea Labo」の開催（令和4年度～3か年事業） 5,740千円（2,869千円） 本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を専門機関（海外の大学含む）と連携し実施（報償金、旅費、委託料）【対象：中学3年生及び高校2年生】 				<p>思いやりの心もち ことばの橋を架けて 未来をつくり出すことも 育てたい3つの資質</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>お互いを認め合う心</p>  <p>Open-handed</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>世界とつながるコミュニケーションの力</p>  <p>Bridge</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>未来をつくり出す力</p>  <p>Design</p> </div> </div>
	事業スケジュール				
別紙のとおり					5

No3 グローバル人材育成事業

事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
Kyotango English Day						参加児童募集	事業実施					
Kyotango English Camp						参加児童募集	事業実施					
オンライン留学				現地校とスケジュール等調整		参加生徒募集・決定	事前研修 オンライン交流					
中学生海外派遣	視察・業者選定			派遣生徒募集	選考面接	派遣生徒決定 結団式	月1回程度事前研修					
英語力向上アプリ	アカウントを配布し、学校及び家庭で使用											
Kyotango Sea Labo	プログラムの調整、生徒募集				ワークショップ	プログラムの効果測定・評価、分析、フィードバック、プログラム完成						

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	当初予算額 (基金充当額)	2,385千円 (2,385千円)	
目的	低所得子育て世帯（住民税非課税世帯）のこどもの学習機会を確保するため、受験料の補助を行うことで、大学等進学に向けた支援を行うことを目的とする。					
事業概要・主な経費	<p>低所得子育て世帯（住民税非課税世帯）のこどもの高等教育進学のチャレンジを支援し、教育のセーフティネットを張り巡らせます。</p> <p>【補助対象者】 本市に引き続き1年以上在住（住民登録している）高校3年生（特別支援学校、高等専門学校含む）及び高校3年生に準じる方（満20才までの高校3年生に在籍していない方）のうち住民税非課税世帯で大学等の受験をしようとする方</p> <p>【受験料支援対象校（大学等）】 学校教育法に規定する大学、短期大学、専門職大学、専修学校（専門課程又は一般課程に限る。）、各種学校（同報第1条、第124条、第134条）</p> <p>【給付金額】 受験料（大学等を受験する際に必要な費用（受験料））：一人53,000円（上限）</p> <p>【対象者想定人数】 ①高校3年生の方、且つ住民税非課税世帯の方：40人 ②高校3年生に準じる方、且つ住民税非課税世帯の方：2人程度（40人×5%） 合計（①+②） 45人程度</p> <p>【事業費】 53,000円×45人＝2,385千円</p>			事業スケジュール	<p>7月より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知・申請 ・審査 ・給付金交付 	

No5 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業

分野	文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和6年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	5,532千円 (3,367千円) ※内追加分1,000千円
目的	<p>本市文化芸術振興条例に基づき策定した「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しむ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす“日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ～』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民が文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。</p> <p>この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。</p>				
事業概要・主な経費	<p>1「京丹後アートフェスティバル2024」の開催 市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体験できる機会を提供するため、一定期間をフェスティバルとして開催する。昨年度に増して、創作体験の機会を充実させるため、ワークショップマルシェ（仮称）を催し、誰もが自由に美術やダンス、音楽などに触れられる場をつくる。</p> <p>■事業費2,473千円（基金充当予定額 1,237千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みるプログラム」994千円（需用費（印刷製本費）800千円、ほか） ・「知るプログラム」928千円（報償費（謝金）525千円、需要費340千円、ほか） ・「ワークショップマルシェ」330千円（委託料（会場設営費）330千円） <p>2 落語会・落語体験塾の開催 市内中学生を対象に、本物の文化芸術に触れる体験塾を開催し、将来の文化芸術分野を担う人材育成に寄与するとともに、市民には、本物の文化芸術を体感できる機会を提供し、「文化芸術を楽しむまち」に繋げる。</p> <p>■事業費1,859千円（基金充当予定額 930千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落語体験塾：市内中学校2校を対象（予定）に、本物の落語家による体験塾（ワークショップ）の開催 ・落語三人会：本物の落語家による落語会の開催 <p>3 丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金 障害がある方たちへの市民の理解醸成といきいき暮らせるまちづくりにつなげることを目的に、障害がある方の絵画等アート作品を市内各所で展示する「TANGOまるっぼ美術館」を開催する同実行委員会に対し経費に対し助成する。</p> <p>■補助金200千円（対象経費内訳：画用紙購入費25千円、イーゼル購入45千円、会場費30千円、周知チラシ作成60千円、消耗品費10千円、作品謝礼30千円）</p> <p>4 京丹後市市制20周年記念文化公演実行委員会補助金 京丹後市市制20周年記念文化公演として、同実行委員会が「（仮称）能・狂言公演」及び「田中彩子 デビュー10周年記念リサイタル」を開催するにあたり、補助金を交付する。</p> <p>■補助金1,000千円（対象経費内訳：旅費交通費1,071千円、委託費5,170千円ほか）</p>			<p>1「京丹後アートフェスティバル2024」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 ワークショップマルシェ公募開始 ・8月 「みるプログラム」広報物配布 ・9月～ 京丹後アートフェスティバル2024開催予定（～12月まで） <p>2 落語会・落語体験塾の開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月 体験塾対象校の決定 ・9月 落語三人会の広報物配布 ・11月 落語体験塾の開催 落語三人会の開催 <p>3 まるっぼ美術館の開催（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月以降 福祉事業所等へ作品制作依頼 ・秋ごろ 市内複数箇所で開催 <p>4 市制20周年記念文化公演</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月 「（仮称）能・狂言公演」及び「こども能・おもしろ能楽講座」 ・12月 田中彩子デビュー10周年記念リサイタル <p>事業スケジュール</p>	